

# 知徳体のバランスのよい育成を目指して

～よく見 よく聞き よく思い 心も体もたくましい人間をめざします～

副校長 齊藤 誠

過日実施しました大運動会では、暖かい日差しの中、大変多くの保護者の皆様に見守っていただきながら、児童が主体的に運動会を運営し、全力で競技に取り組む姿を御覧いただきました。多くの声援をくださいましたことに感謝申し上げます。

この運動会では、児童に次のような力を育成することを目指して取組を進めました。

- ・運動会までの体育の授業で、主に「走」に関する運動を通して、児童の体力の向上を図りました。
- ・学級や係の活動で、運動会に向けて学級全体や個人で取り組む目標を設定し、目標の達成に向けて児童の発想を生かして計画的に取り組む力を高めました。
- ・一人一人が集団として活動することのよさや充実感を感じ、組織的に行動する力を高めました。
- ・運動会の取組全体を通して、家族や関わる多くの方々に感謝する気持ちを高めました。

また、多くの方に見守られる中で、適度な緊張感を感じながら発表したり、練習の成果を披露したりすることも、大きな成長につながる経験となりました。



こうした経験は、コロナ禍では活動が制限され、十分に行うことができなかつたのですが、今年度は、4年振りの開催にもかかわらず、多くの点で、「やれてよかった！」と実感できる成果があったと感じています。また、こうした「運動会を通して育成する力」は、保護者の皆様から認め

てもらえる経験をすることで、更に高まっています。運動会明けに、自信満々に登校してきた児童の姿を見ると、御家庭での前向きな言葉掛けがあったのだと気付くことができます。

さて、「運動会を通して育成する力」について説明しましたが、これらの中身を見てみると、「運動会だから体力向上(体)」というだけではなく、自分たちで目標を設定し、目標を達成するための方法を考えること(知)、集団内での所属感や自己有用感、感謝の気持ちを実感すること(徳)など、知徳体を同時に育んでいることが分かっていただけだと思います。



また、本校では、「児童がただ何となく活動する」のではなく、「目的意識をもって活動する」ことも大切にしています。そのためか、学年が進むごとに、多くの児童が今年度の重点目標である「つくりだす子」を意識して生活しています。運動会のプログラムに書かれた友の会代表の高橋快誠さんの言葉の中でも、「合言葉に向かって一人一人が自覚をもち、楽しい運動会にしていきましょう。」と書かれており、合言葉(目標)の実現に向

けて行動している6年生の姿が、競技や係活動の中で多数見られました。

本校の体力向上の取組は、運動会から継続して行われ、低学年と中・高学年がペアになり、一緒に新体力テストに取り組むなど、みんなで体力向上の取組を楽しんでいる姿が見られました。この取組も、体力向上だけではなく、異学年の児童同士が応援し合ったり、がんばっている様子を見て学んだりする中で、心も成長させていました。



6月は、4年振りの対面形式での教育研究大会を実施します。多くの先生方に囲まれた中で意見を発表したり、自分の考えをノートに書いたり（そのノートを見られたり）する経験は、一人一人の児童を大きく成長させます。6月も、児童がのびのびと伸びていく姿を見ることが、とても楽しみです。